

繪本
敵討

岩見英雄錄

三編

壹

遠
2509
35-15



遠門
號 2509
卷 135-15

皇都東陽先生閱

全七冊

繪本若見英雄錄三編

浪華書肆

綠花亭富雪畫

前川文榮堂



序

草之精秀謂之英獸
特羣謂之雄夫人之智
勇精秀膽力特羣者因
名之謂英雄精秀也特

群也。得此難矣。近世有
若見種彘者，有智勇焉。
有膽力焉，所謂英雄者。
其庶幾乎。見其遍遊諸
國之狀，權悍惡技，善良

蓋有勁，憚之，意存。又有
復讐之舉，義氣襲人，稟
乎如冰雪，則其智勇膽
力，縱非精者，特羣示可
不謂此英雄之士乎。是

書也記其行事名曰岩
氏英雄錄播閱有感因
題一言於卷端云爾
嘉永五年壬子秋九月

小澤東陽



奸吏
之
之
義俠清
潔人哉
之

石長尾門

仙石長尾門



猛勇怪力仁也義
梟賊初業何敵之

舟載用義

舟載用義



子日野乃
暎女
みまろとて
つて千代の
たあゝまのん
まをれつるや

悪僧崩

楓松太郎

舟載用義





小杉山の娘

人さしね
尾むらじゆま
まゆりねを
まゆりねの
まゆりねを
川然よの女

長谷川好吉



方今可賞
一七功
後世可恐
美丈夫

お田器助

角於虎助良速

只



神ぬれて
二度びら
けさの秋
は女

高野弥兵衛

繪本復讐英雄錄惣目録

第一

岩見同胞為擄事

四嗣子而盛張擄重太郎圖

若見同胞被擄事

於若若政系濱波園家之使者圖

高野弥兵衛再謀苦若若見市之師事

重太郎罵次吏圖

第二

惟松太吾情義心之事

夏乙左生録

言野孫台信孫宿逐電之事

雅以太平燕新治公於鹿宮園

言野次針意顯之事

楮家之士圖落宿園

次業意彼居捕事

於名取川捨其業園

第三

言野孫台信孫宿逐電之事

次業白伏之事

卷豪次踏閑道園

言見同體今于雅松右平事

志見軍六被捨閑園

言見校季對面于雅松右平園

第四

楮家次業裁許之事

嗣子病死於客舍事

嗣子離病床園

言見帝右帝与楮政宗對面之事

言羽田在後台情見送帝右帝園

言右帝再陷毒之事

思修計而欲亡帝右帝園

第五

言右帝出火中懸懸候事

思人推松德德等因

推季別推松古平事

於松店守古平情别于推松因

古平守宿之山々堂事

古平守秋路之山因

第六

古平守推勇除山田之害事

若人推季付大蛇因

古平守遠去山中事

依藥功古平守免蛇毒事

推季宿于右田屋因

古平守遠回於富山事

思河の里怪又之因

第七

古平守德德吳事

古平守到于思河之里因

角於虎之脚邊古平守之獲事

古平守對面角於虎之脚因

虎之脚付思河之妖怪事

虎之脚獲勇之因

無月録終

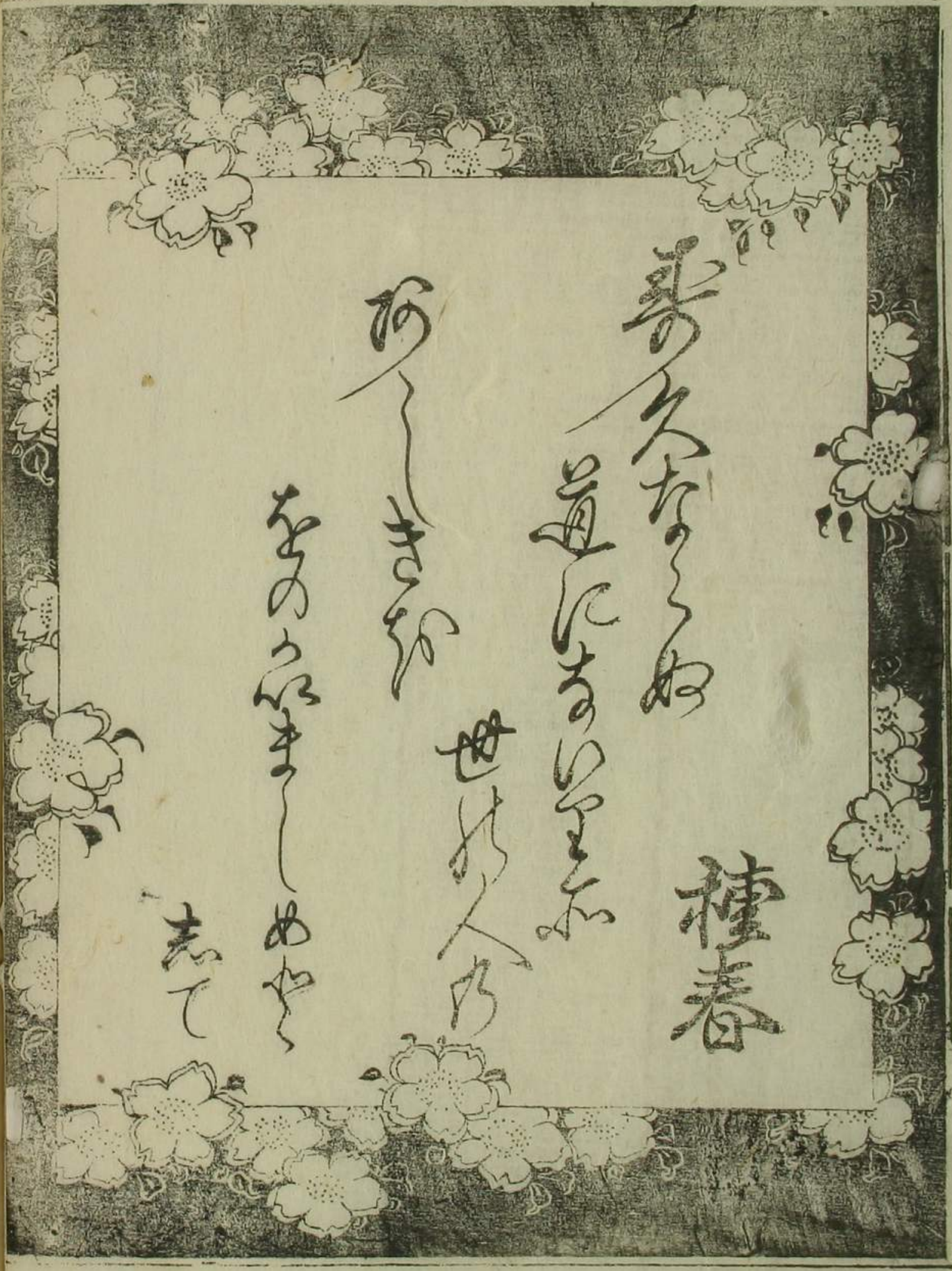


繪本淺筆英雄鑑三編卷之一

岩見同胞為擄車

孔子の聖なるも陳蔡の厄は絶糧の憂を。後氏の忠なるも白奴の
 難は囑中若と云く。高野弥兵衛奉事が奸詭回小中。一
 色意達の新聞も忘れん。本邦後季ハ阿妹嗣子法を。おひも
 去り猶家の勇士小権圍を。陣射の際も。ささ小勢ひ眉と。燒が
 ぬれ危急の難のそが。よ上つて。總きつて。嗣子ハ。湯で。國の士卒と
 斬。一が。逃さぬ。下と。思ひ。ま。血。敵。小。女。と。あ。ひ。悔。一。教。多。の
 士。率。劍。と。彼。ら。む。ら。者。殺。と。知。る。に。純。中。後。季。が。勇。威。あ。つ。と。
 拂。ふ。向。う。の。敵。も。れ。奮。激。實。戦。別。々。と。事。電。光。の。閃。々。か。く
 比。南。八。方。小。物。を。固。ま。は。さ。る。も。あ。よ。り。猶。家。の。別。共。力。と。候。せ。互。に

淺筆英雄鑑三編卷之一



春久なるぬ

種春

道にまらるる

あ〜きん

世に人

をのふま〜ぬや

志て

扇まし。只一人の曲者猶も一人の女をもて。遠慮も捕逆しよ。世の
 笑鼻をうせしと喚き叫で捲み斬るやどに。踏死踏揚る。臺は縁
 蹴りて血潮を小溜下。とてあしとて言ん。方てそあうそれ。然れ
 大臂力心と抜き。刀は外小通じ。武者は世にも。鳴きく。英雄の富
 下。享年二十一歳。血も方子吐る。火の信。敵の血潮がぶと。死
 勢の精。外は方小加り。撞りし。虎の羊と逆ひ。残たる。敵の矢と。驅も
 引や。あしん。難。ある。士卒の。も。顔。胸。膊。肩。髀。双。膝。割。つ。け。難。さ。う。く
 勇。心。性。せて。戮。ふ。う。ぞ。敵。多。の。士。卒。敵。も。小。物。な。れ。叶。ふ。く。も
 足。ぞ。れ。バ。仙。石。長。右。衛。門。好。利。遠。く。撃。つ。に。暗。號。の。報。聲。々。々。と
 響。く。程。め。を。あ。れ。別。營。小。控。する。百。及。或。於。盤。張。り。中。兵。引。退。し
 敵。來。り。拏。件。と。見。し。う。も。大。は。驚。り。以。者。の。あ。う。う。き。中。く。尋。た。る。

てハ捕へ難しとあひ尋く。も。身。は。血。流。が。を。一。も。も。六。劍。と。頂。せ
 くも。若。く。か。じ。且。女。と。あ。く。捕。へ。得。り。て。渠。自。ら。縛。ふ。死。し。む。も。無
 る。と。隊。下。の。兵。と。二。隊。に。ち。ち。十。餘。人。と。以。嗣。子。は。向。り。せ。左。軍。傷。つ。け
 ぶ。して。早。く。捲。う。せ。と。下。知。し。あ。る。百。餘。人。と。自。ら。好。ひ。者。の。餘。り。物。は
 室。と。脱。して。他。方。より。押。寄。み。つ。ふ。思。ふ。事。を。所。以。縛。り。小。令。ふ。提
 り。恩。赦。の。強。い。高。家。より。申。ひ。ひ。ま。へ。ん。と。敵。討。た。る。を。自。ら。命。と
 供。する。も。ば。や。あ。く。情。業。に。捲。り。死。と。道。と。と。や。一。日。不。強。よ。う。と
 撞。き。刺。死。ひ。母。敵。の。志。も。う。人。者。餘。刀。を。揮。り。向。ふ。所。や。あ。う。と。殘。り
 彈。隊。まで。血。は。流。し。た。刀。と。果。す。百。餘。人。の。中。へ。嚙。て。驅。入。り。火
 出。る。や。ど。も。と。碎。く。斬。り。し。よ。此。隊。の。士。卒。生。兵。と。ひ。縛。り。ま。し。る
 者。を。も。れ。バ。透。間。も。う。く。吾。自。持。お。と。追。ひ。つ。る。為。の。首。を。取。捨。ん。と

競ひかゝるわどん。うち揮ち口の異く光の雲乃と殿を電るま
 弁と流る。星うきもさつをく。雲如に陰の輝びの風み舞く
 節も亦。原は乳く。篠よりも遠く。それバ。種事こび六博月め
 芳なりとも。免るべし。いんあざる中と。或るは。さの透し。みと
 判は沈んで。逃げ脚と。拂へ。踊り。新。たふは。交流し。西中丁ど。突
 捨と。捨止と。拂ひ。舞て。の。あ。脱川。溜つ。派。剣。一箇も。肩。こ。そ。飛
 鳥のや。か。り。廻り。一。雲。間。は。十。餘。名。梨。子。割。朋。斬。大。雲。沙。小。雲
 袋。車。物。も。ら。む。と。判。削。し。派。削。派。削。と。彼。ら。る。者。三。十。餘。人
 尻のふしも。葉。ぬ。き。実。も。一。人。當。千。の。勇。士。の。健。闘。ふ。じ。も。勇。ま
 し。式。給。が。生。兵。彼。方。へ。披。き。け。る。へ。魔。き。獲。あ。ぐ。て。ぞ。と。ん。へ。あ。る。る。
 この。め。も。さ。る。は。な。盛。法。が。指。揮。ま。て。引。分。け。一。派。み。十。餘。人。鬪。子。と

中。み。あ。る。籠。て。孫。が。上。う。ぞ。飛。り。あ。る。憐。れ。む。し。屋。綺。あ。も。堪。ぬ。な。弱
 め。の。鬚。捲。き。て。髪。や。う。ふ。香。ひ。ほ。く。髪。髻。の。も。ら。く。と。痛。ふ。か。て
 て。解。み。た。れ。花。散。雪。膚。も。紅。み。珠。を。汗。と。綴。り。つ。折。の。眉。浅
 髪。ふ。ま。で。ふ。わ。ど。け。髪。う。類。髪。と。ま。く。織。や。う。あ。る。た。の。み。あ。て
 播。揚。ま。ぐ。日。東。塔。し。琴。の。あ。る。へ。等。の。す。さ。び。の。艶。き。業。み。引
 久。し。又。と。兄。との。條。波。さ。る。み。と。揮。ふ。を。振。健。豪。の。口。ん。へ。た。り。く
 持。場。子。迷。ふ。維。も。も。いと。痛。く。も。危。う。た。れ。去。た。一。世。の。大。の。ど。く。や
 へ。と。を。ひ。り。て。脚。ぶ。く。ぞ。先。ふ。進。み。一。兩。人。と。判。仗。せ。三。四。人。ふ。削。う。せ
 め。る。も。原。典。され。バ。肩。も。も。せ。び。息。も。絶。ぞ。採。ま。ま。び。た。の。神。と。琴。柱
 お。か。ら。れ。み。と。揮。て。袂。と。判。放。さん。と。ま。る。間。も。無。く。一。人。の。武。士。帯
 隠。ふ。織。搭。と。う。け。く。挽。倒。し。お。う。き。う。て。扱。も。扱。も。壓。伏。て。強。さ。く



復仇英雄録三編卷之一



嗣子と
盛張
重太郎と
擧る囚

重太郎

沖子の兵士と創け傷ひし過ち多ふり給が。はしと速く縛り交
中へこの女の血と押掛ひ鞘子納めし副刃徳も投中し自ら
縛索不脱くは是非無りびるるももたうり

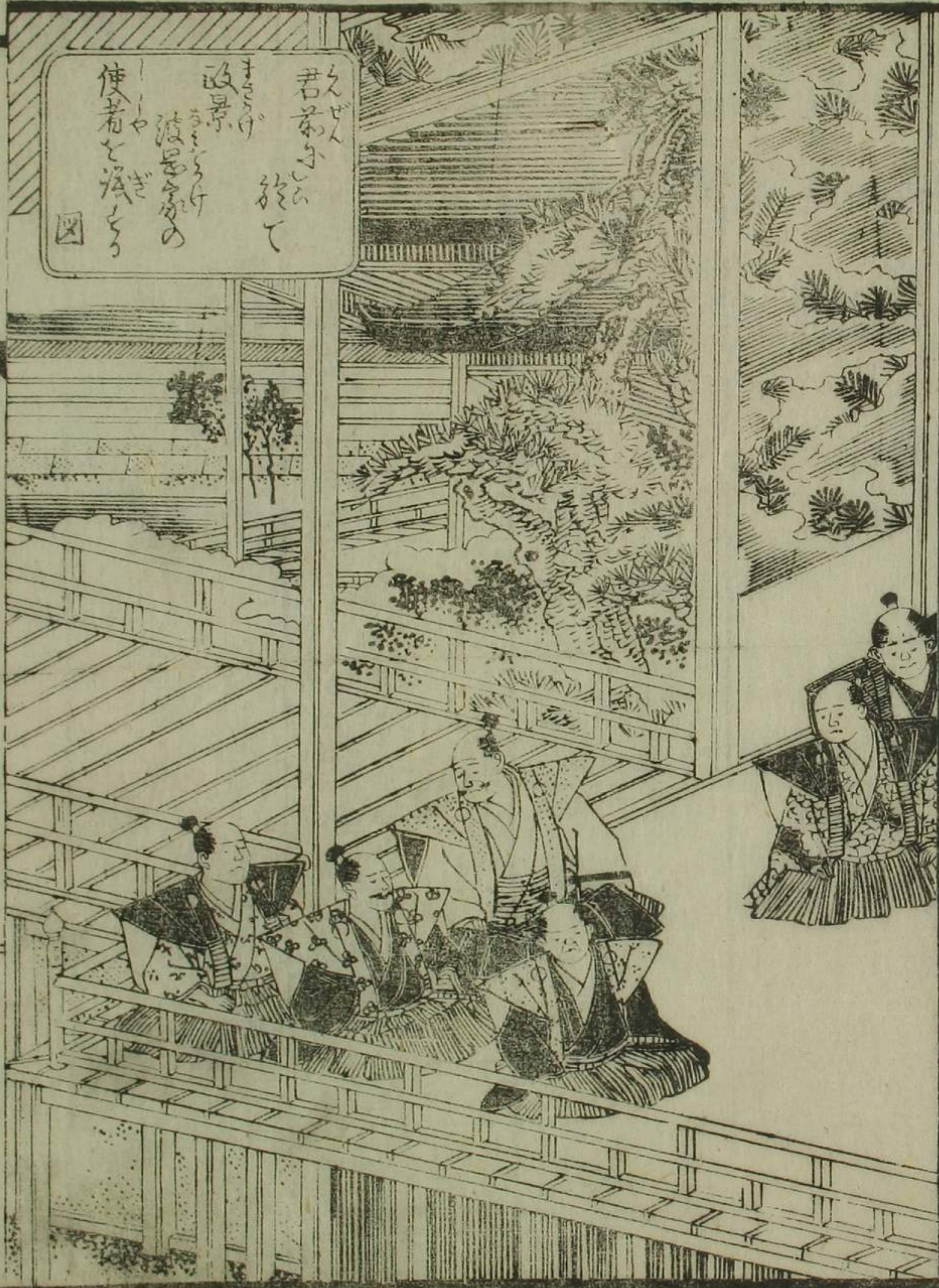
若見同袍被縛御事

仙石長門好利百々或は豊張を種重兄妹と捨り。部下
の殺傷と懸捨るるに死せる者十八人創者二十餘人及ぶり
於ては河中と重役の御事へ達し。主君左衛門輝孝人言
上は輝孝の首尾とてと剛沸し。疎知よりかゝる事忽
ち死ね給も命し。重なる事。初殺傷の者多き。因重は下
の誤るりしやされらるる。仙石好利の妻子周る好勝と
殺さばしるる。深く思ふんと。恨み重なる後。河と投けて種重

と思ふ言ひし。重しやど。重役の士あり。故に在ひ。重なる。彼も重
本所女流を骨相書不遠ひ。多き。陣番所あり。士卒苦給り
同は。其。細寒り力と。投て。指。指。及ぶ。の。好利が。男。周る。好勝と
殺害の。う。懸。て。る。事。不。及。び。中。や。る。輝。孝。を。重。し。
然。あ。ら。が。彼。思。ふ。と。中。ら。ふ。も。罪。重。く。似。ら。う。然。し。も。好。勝。壯。年。血。れ
の。若。る。も。は。お。小。雄。や。う。と。懸。世。し。や。料。重。く。は。父。し。て。重。子
と。懸。く。重。ひ。る。と。指。毒。れ。は。能。く。事。と。乳。と。不。し。去。あ。て。も。思。ふ。ん。の
衆。初。あ。つ。れ。若。冠。は。他。多。る。は。武。勇。の。豪。傑。情。き。者。る。れ。は。皮
骨。家。あ。く。人。の。終。は。傳。り。し。り。あ。て。て。深。重。き。者。ら。ん。ん。あ。家。の
小。仕。へ。さ。せ。る。が。実。小。一。箇。の。干。渉。る。べ。し。平。始。り。し。て。は。一。條。と。疑。ふ
不。可。なり。今。天。下。所。の。や。く。句。是。兵。馬。戰。争。の。世。間。る。る。津。野。の。彼。家

より流石にて数百里の山海と為つるを困りて路の授塞し而も
五人よつた所縁を以て彼等が幼年より武術と學びて彼等
を以て之の毒也理も亦不しきされども如何なる去バ彼彼家の
信中而も其の言活九別就するは是亦疑之。又彼等より以令せ
わらり動しつるを老の之ふ及せり。彼等相馬田村等の城下と
廻り前途と兼せり。一はより返り。苗家の前疆も遷す人とせし
まもつて遊ちて出毒とるふ初老より新路と迂びても亦不
べしとるる色は是又結しきりあり。あゝ波多入使を著し事
實吾と少れし。彼等より罪過を明しては亦其の彼等より其
結言傍が中ち一各不符合せば。亦野不附とて其等へ送らし。
若くは遊ちて亡命せし者も其の余が亦不付あせり。

と此老よりとらして家老の上席たる楯上野介政家とてはと
彼等とれば。政家僅であり。其の程恨をかう物なきとる。實
かゝ勇士に世の得たるものや。これにては。彼等の人と情も
此後の通り。波多入使者と進せり。一と南後定りたり。作は
上野介政家と云ふ先君。苗の末裔本家の所胤ありて。今。家老の
家とつばといふども。實は輝家の所より叔父なるも偽で。上の所い
中の家老も大うこのかうさうする。は政家。實仁大後子而。士とせし。林
家と家の人より。政家。跡不守を命が武勇と惜まれ。今。波多入
使者の様も臨み。愛し急ぐ。徳信方の直と務録して。彼等中俣で
帰るるも。其の苗家の事あり。智勇辨舌の士なり。て
稱ふなり。楯上野介政家。彼等とくくは。人々とも。上とるに。輝家。其も



徳川家
 三編
 卷之二

向ひし。高野平九郎團亂あるふ。初りし。高野平九郎秀実未だ陰謀
 小あり令し。但し保儀ふ力とほせ。をて用ひらる。然るに六日の申牌
 徳兵衛利、竊ひ僕より簡とせ。高野が徳合人ありし。をせし
 其の事。病悩の所なり。これ。門人等宗六にひく。其の事。せり。其
 主人は。病悩の所。外中ひら。何事の沖事なり。や。病悩の所。は。終
 不あつらう。追て。申報中まへし。と。返し。其の。翌日。植政系は
 家士ありて。昨六日。高野平九郎。其の。所。并。子女も。た。不。捕。へ。中。報
 たり。に。小。股。太。之。利。り。之。知。く。是。と。謝。し。主人。奉。嘉
 病中。少。い。間。沖。便。の。報。果。取り。其。中。ま。せ。ひ。し。と。同。し
 扱。不。苦。へ。申。便。と。申。し。たり。

高野平九郎再謀若君見重を断事

昨日午時より奉嘉病勢大に癒し。群外遊嬉し。其の事。あり
 看護の門人等と。願ひ。又。高野と。看護の。志。を。懐。く。之。色。ど。も
 波屋への使者と。伺ん。と。要。要。あり。と。記。述。する。が。一。刻。も。早。く
 高野の。麻。針。の。徳。合。人。に。引。く。と。便。し。高。野。門。人。等。も。政。系。が
 使者の。報。との。ごと。く。高。野。平。九。郎。の。既。不。苦。人。を。病。悩。の。所。に。生。捕。せ。し。也。た
 高野平九郎。申。便。と。申。し。たり。又。其の。徳。合。人。も。書。き。と
 扱。せ。致。れ。し。其。定。め。し。其。の。一。條。ま。い。ら。ん。と。高。野。平。九。郎。と。徳。合。人。と。其。書。と。申。し。た。れ。ば
 徳。合。人。等。奉。嘉。大。に。慰。む。其。の。事。を。て。高。野。平。九。郎。と。徳。合。人。と。其。書。と。申。し。た。れ。ば
 亦。一。我。等。の。不。過。と。言。ひ。て。仙。石。周。馬。等。も。高。野。平。九。郎。と。徳。合。人。と。其。書。と。申。し。た。れ。ば
 傷。の。者。多。き。事。と。高。野。平。九。郎。と。徳。合。人。と。其。書。と。申。し。た。れ。ば
 と。結。果。さ。ん。ふ。今。か。く。病。中。の。事。を。叶。ひ。謝。し。暫。し。が。後。徳。合。人

せむら子をかたじけなく懐くも、あつちあつちの志と果す
 各も原く謝しやさん姑それの際一箇の計と改。若んあ
 害免獲せむと他日殺獲これの勞と省くべしと。白次
 國治三通と已むが親族と移へる。國治と名告せ多く
 金銀と携へへ。仙石好利が宅小刻らしむ。此日假と送るし
 志と改。病中のをれとて。且國馬が維令の死と牌又て。國馬
 たりとて。許多の苦痛と喘りせ。泰嘉病中か。も。不捕殿
 よう囚等と。津波し。あつち。今般付ひま。りし。某不浪士久く
 分ちて囚とせ。備へ。先は長く送りひ。う。又。泰嘉を。り。福
 懐ひり。自ら獲送し。ゆ。く。ひ。う。う。も。病後の。り。う。う。一
 五通し。ひ。も。を。苦。く。ひ。と。既。も。知。り。百。色。也。死。大。力。別。當。の。志。も。ひ

へ。ま。見。隠。殺。給。ふ。の。間。も。或。を。脱。袖。の。り。も。ん。も。囚。り。給。は。し。刑
 獄。の。内。的。も。あ。の。り。も。ん。も。職。と。せ。及。び。ひ。物。る。若。軍。門。の。君
 命。と。願。さ。る。の。理。り。ん。更。人。の。職。も。亦。同。じ。是。等。の。中。と。も。な。く。
 妻。人。の。方。寸。子。あ。る。る。子。ひ。ん。彼。是。の。役。宜。か。健。波。甚。あ。く。此
 罪。過。と。乳。強。く。し。く。不。喜。く。携。向。と。加。へ。し。彼。者。を。事。中。堀
 強。割。勢。の。性。質。あ。る。も。尋。常。の。り。も。あ。て。ハ。突。と。吐。け。し。災。な。も
 強。く。推。問。し。あ。つ。ち。は。し。是。冷。を。死。す。ひ。他。れ。も。う。う。ま。ま。あ。り
 後。藤。泰。進。の。遺。し。事。不。防。ぎ。給。ひ。二。う。の。孝。嘉。が。和。方。と。ハ。救。ひ。給。り。り
 其。時。あ。つ。ち。言。せ。る。も。思。を。忍。び。き。好。利。賄。賂。よ。眼。ら。う。み。符。名。あ。り。ハ
 我。を。殺。害。せ。ら。れ。私。懐。と。ひ。を。れ。優。多。不。忠。され。連。不。許。海。の。返。答
 と。三。通。儀。会。小。切。り。て。かく。と。報。う。れ。バ。是。事。中。堀。う。と。怪。び。す。

夏元長集三編卷之十一

捕上野の政多し。彼とあつて厚く附し。其の素直なる申す
 のべ候令囚人馬渡し。その素直なる申す。其の素直なる申す。
 其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。
 我着病ふ集ひあつて肉捕家より万一我上と怪しむ波多
 破ふ使と事いせし料りぐじし。彼ら其の素直なる申す。
 終下。そのうちあつて某の病全く瘡果べたれば。い何ありて彼
 等と乞仕は地と去べし。去れば捕家の使者と思ひ候者山の
 とうりゆり来るといふ。大急し。速に張と悔し
 籍小松子と何い。思ひあつて放ち去らう。其の素直なる申す。
 捨下されば。危角の所強ふ。いその素直なる申す。不日小使と事
 んも知べく。彼に候りて。彼れ小眼と着。去と配りて。い候し。い

合元。おのれ軍六宋秋。安達内運。お如僕大車と。し。副多
 廊邦の客店。を列らせらる。却呪仙長。其の素直なる申す。
 鹽法と。今令。私に。願と。役け。あつて。其の素直なる申す。
 強り。其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。
 其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。
 其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。
 其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。
 其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。
 其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。
 其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。
 其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。其の素直なる申す。

寫せし書と濱側せ今汝が階囚の身とありぬまへ遠く
 方は速く自快し。深く罪小ゆるし。終は遠くより波屋度へ
 中違し。その罪一等と雖。汝は深く。濃きを強固なるかぞ
 怪事も此度の強強。り。父憎むる所。汝は六門等。そ。遠く
 去る。なと廻らせ。や。又。汝は。汝の故。三浦。り。怒ひ。か。一。汝
 あり。と。な。さ。ぬ。角。さ。ぬ。あ。ひ。そ。う。れ。ど。も。皆。西。の。罪。収。の。報。き。一。く。終。て
 是。亦。の。罪。は。ゆる。ぐ。も。わ。ら。ぬ。が。ゆ。り。き。し。汝。身。と。告。る。に。や。ど。と。心。と
 定。り。望。も。動。ぜ。ば。や。さ。う。く。西。毛。汝。是。悟。せ。ら。る。り。や。て。一。事。その
 念。と。得。る。る。有。り。某。何。と。ら。深。く。や。ん。や。澳。西。十。餘。列。の。大。毛。毛。理
 右。馬。次。大。に。え。れ。故。臣。の。将。家。流。の。示。列。名。島。の。海。主。の。世。長。若。見
 重。た。海。門。兼。之。の。次。ふ。室。を。帝。後。重。と。や。者。父。さ。る。ま。ち。海。門。と。人。小

殺害せられ。その仇と懐えんと。妹と付ひ。國々と経歴し。い。西。あり。し。お
 沖。の。武。士。も。ち。理。不。さ。ふ。事。業。の。罪。と。終。捕。人。と。せ。有。大。と。抱。へ
 身。の。己。こ。と。汝。は。汝。折。接。ん。と。せ。の。波。屋。家。の。老。あ。ら。ぬ。は。終。也。筑
 築。と。言。は。音。節。の。違。ひ。さ。と。者。ら。ら。せ。波。屋。と。出。立。せ。一。事。さ。ら。ば
 定。め。り。菊。の。方。より。少。の。例。行。さ。ら。ば。也。且。密。通。る。と。い。ふ。外。の。者
 名。女。い。ふ。妹。あり。聚。々。ハ。某。の。女。貴。かり。名。傳。へ。後。者。と。き。れ。終。く
 紅。れ。赤。言。の。偽。り。ぬ。と。察。せ。ら。る。べ。し。と。や。ら。る。仙。人。長。の。海。門。次
 知。ひ。汝。倭。兵。と。い。ふ。遠。れ。ん。と。さ。ら。と。も。幸。う。そ。れ。小。欺。し。ら。ん。や。汝。罪。を
 の。者。さ。ら。ば。何。ぞ。知。ら。る。後。倭。兵。と。交。我。目。不。知。く。陳。謝。せ。ざ。ら。ば
 白。刃。と。揮。き。多。の。士。卒。を。殺。傷。せ。ら。身。小。犯。せ。罪。を。さ。ら。さ。ら。ば。や
 西。條。一。身。あ。て。い。實。情。と。吐。け。し。と。士。卒。小。拾。揮。一。終。案。の。ま。く。壓。伏。て



夏丸在准象三編卷之二

古



重太郎
女史と
罵る
罵る
罵る

徳川英知録三編卷之二

十三

大の根とぬかんとさうふ。なまな浄世もあせび。案外まで牙の
 うんとぬく。迷うといふも。神隠入どくと。呵責せんとせらう。こを
 お審り。えんが波。あやうのれしと。かしく。そ。津波のあし
 と。ぬで。そ。と。ん。せ。れ。さ。だ。ぬ。白。ふ。分。り。各。も。さ。や。で。急。ぎ。進。め。も
 及。ず。し。死。ふ。然。い。る。び。し。根。に。根。と。下。ん。と。さ。る。と。さ。り。入。り。
 前。日。新。突。と。や。ん。ふ。終。く。理。不。さ。に。ま。よ。欲。對。心。傷。と。う。け。
 者。ど。の。遠。恨。と。報。の。計。策。さ。う。ん。ま。い。は。無。さ。う。人。く。甘。ご。と。死
 ころこ。あ。げ。ん。す。し。て。ま。ん。え。ん。
 そ。個。の。旅。人。と。殺。十。人。而。捕。獲。さ。う。ん。是。武。乃。未。熟。の。い。く。り。あ
 され。ま。し。も。始。う。事。の。中。と。迷。く。首。ら。れ。る。ま。一。年。一。臂。と。揮。ん
 手。終。く。ば。法。士。の。庇。傷。も。あ。ら。う。と。を。法。士。の。指。指。の。金。持。案
 ころ士。の。柔。弱。より。而。制。禁。者。さ。う。さ。う。が。ぬ。し。そ。と。妹。の。存。り

自縛と交する系と。拷問は拙て。柔弱の報と。存し。武士の
 五。や。じ。死。事。ぬ。り。ぬ。る。無。計。と。ぬ。く。南。家。の。法。と。す。を。年。
 吾。道。と。や。い。う。ん。横。政。と。や。い。う。ん。嗚。呼。未。終。さ。る。猶。家。の。人。
 外。と。門。外。中。ま。い。び。等。く。大。音。さ。う。ぬ。さ。う。つ。百。く。他。を。肥
 付。る。形。勢。の。あ。凄。く。こ。そ。い。う。く。う。け。き。ま。か。ら。さ。る。士。卒
 者。も。は。猶。努。力。碎。易。して。た。右。な。く。も。進。く。う。ひ。て。跡。さ。う。り
 しく。ひ。く。しく。仙。名。長。た。唐。門。ハ。若。身。が。雷。夢。ふ。ん。中。挫。が
 あり。と。い。く。も。ま。よ。屈。せ。ば。而。威。失。さ。う。ふ。か。つ。く。振。例。ふ。こ。も。み
 言。奴。白。状。せ。さ。る。割。ふ。倭。兵。と。ぬ。南。家。と。浪。濤。の。口。と。割。舌。と
 刃。の。罪。ふ。さ。う。り。打。懲。せ。さ。う。や。い。く。ま。い。れ。く。指。揮。す。れ。が
 士。卒。再。び。立。か。つ。く。己。小。根。と。り。よ。ん。と。為。め。不。執。次。の

者様通りより進出さる。百く仙石小向ひて曰。只今長尾権
上羽より使者として。家士田造某等。入参候。其
囚人忠見の候。小付。百く後。仙石小向ひて。面談中。其
事也。と。達し。され。百く仙石の主人。小向ひて。其
何事乎。と。羽の使者。曰。故こそ。ある。其の橋。台。可。秘
と。て。仙石小向ひて。重なる。命。と。め。との。獄。屋。よ。入。を。い。そ
が。つ。威。儀。と。し。田。邊。と。一。席。小。信。じ。され。田。邊。某。等。
望。よ。居。曰。上。野。小。向。ひ。今。方。勢。の。ま。り。方。候。囚。人。忠。見。等。を。命。
并。小。向。ひ。の。婦。人。等。小。向。ひ。に。渡。り。て。其。の。事。の。事。也。曰。縁。續。候。事。也。
み。川。流。の。役。所。に。連。ら。る。べ。し。を。事。に。あ。り。て。ひ。つ。が。物。志。出。候。
と。ん。居。け。ぬ。と。し。の。事。也。と。て。これ。と。告。の。文。と。し。い。ど。し

々。と。い。ふ。人。等。と。ん。居。に。別。橋。と。野。分。より。百。く。仙。石。の。人。の。あ。り。て
右。の。報。と。告。の。文。面。を。り。され。百。く。人。取。ひ。と。て。重。子。獄。屋。の。中
に。小。令。と。て。忠。見。同。抱。と。穿。刺。し。出。せ。し。准。備。の。事。也。曰。打
撃。つ。士。卒。小。向。右。と。圍。中。を。し。百。く。武。勢。盛。張。仙。石。長。尾。門
好。判。某。等。小。向。て。門。と。物。也。曰。田。邊。某。等。是。と。ん。居。て。百。く。仙。石
小。一。掃。而。先。達。て。ぞ。ぬ。り。る。于。是。川。流。の。役。所。と。号。す。其。國。の
士。卒。と。犯。す。の。乳。問。子。及。び。其。其。許。の。間。縁。續。の。事。也。曰。と。
番。士。等。嚴。守。小。向。と。り。候。事。也。曰。百。く。仙。石。の。主人。忠。見。同。抱
と。率。而。此。役。所。小。向。り。され。百。く。事。士。等。と。あ。り。て。忠。見。同。抱。と。命。と
知。し。縁。續。と。稱。せ。て。提。例。と。し。候。事。也。曰。所。守。役。の。士。勝。と。し。と。い。ふ。曰
其。許。候。番。士。等。小。向。り。候。事。也。曰。人。傷。小。及。ぬ。れ。と。い。ふ

